

4月号 ひふく
みぶ
町の花 ゆうがお

発行 栃木県壬生町 昭和56年4月15日



-30有余年の学び舎と別れ-

壬
生
中

PTAが閉校記念碑を建立、後世に残す



いろいろな思い出を
胸に行われた閉校
式（上=稻葉中、
下=壬生中）

由緒ある中学校跡地を後方に残そうと、
除幕式（校記念碑基壇）を行なった。手土産中
月23日、それぞれ親い抱き合って、
「福葉中学校」の額を掲げた。この額は、
福葉中学校は福葉小学校に統合されたが、
横浜市在住故人のおびただしい寄付によ
り、福葉下馬本在住故人の好意によ
り、年4月に完成され、生徒中学校は第一期
が完成でき、生徒中学校は第一期が完成、
その後特別教室、管理室、保健室等が完成し、
卒業式、さらにはアーチ、体育館等の建設。
現在に至りました。

卒業生は八、四四一人。
一方、福葉中学校は24年2月に兩校金庫が落成、同年10月
含が完成し、その後校舎、特別教室などを増築、さら
アーチを建設し、現在に至りました。卒業生は四
三十有余年風雪を堪えてきた兩校校舎は、
三十有余年風雪を堪えてきた兩校校舎は、

稻葉

56.4.15発行

広報みぶ

正門から望む校舎棟



壬生、稻葉の両中

台取収の自動車運賃表、錆板製作一フル、ハーネス、カーブ、備付、校舎は、語学室や音楽室をはじめ、ビデオ装置のある放送室、スポーツライトを備えたスタジオなど、さらには校庭は、一四四〇〇メートルのトラック、テニスコート八面のほか、ダッジアット付野球場、サッカーフィールドがそれぞれ二つづつ、また運動部室、三部屋などを備え、いずれも時代の要請に応える立派な施設を設置し、生徒の利用を得つながりとなっています。

事業費は、総建設事業費一五億四、五一四万円、用地取得費四億、一九六三、五〇円、その他諸経費五、二五六万六千円で総額一〇億三、三三万六千円、その他中学校建設資金の一部は、簡易保険積立金からの融資を受けたものです)

なお、体育馆の建設は、56年度に予定しています。

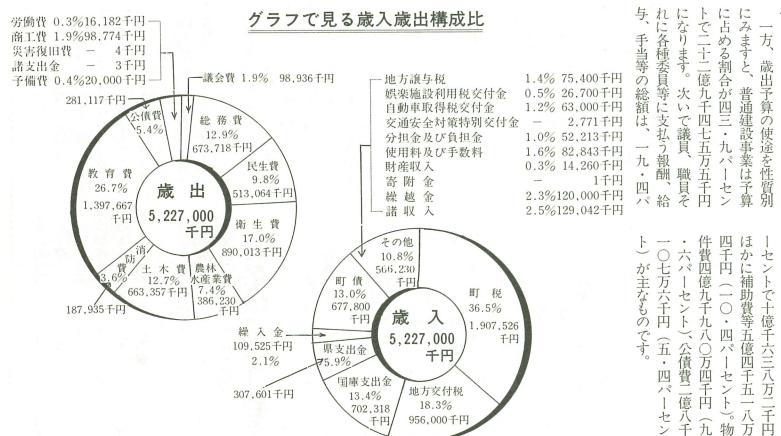
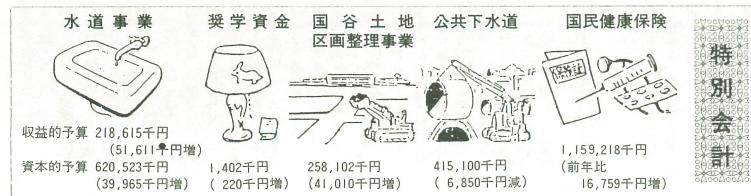
24普通教室と
LL教室、階段式音楽室など20特別教室を設け

新設 壬生中学校落成

運動場は、陸上、野球、サッカー、ハンドボール、テニスがいっしょにできる



関係者を前に開校記念碑の除幕式行う



- 改良工事 111,000
- 改良工事に伴う用地取得費等 100,598
- 住宅建設貸付金 22,500
- 国谷土地地区画整理事業特別会計
繰出金 68,000
- 公共下水道事業特別会計繰出金 135,000
- 広域消防組合負担金 145,000
- 防火貯水槽設置工事 4,000

その他の

・交通安全施設工事	千円 7,350
・納税組合及び税金納期前納付報 償金	18,120
・町債償還元利金	281.11

生 活 環 境

“くらじよい環境づくり”を進めるための予算で、衛生費、土木費、消防費などがこれに当たります。

	千円	出発工事 施設設備工事費	運送収入費用
臺芥処理費	14,717	事業	15,400
清掃センター建設工事	672,565	農免道路事業	2,618
し尿処理費	51,441	基幹農道整備事業	4,466
沙利道舗修材料	7,000	団体営場整備事業	16,000
舗装道舗修材料	5,000	農協施設補助	10,000
舗装工事	84,150	道整備工事	40,500

56.4.15発行

56年度予算

清掃センター建設など
一般会計は52億2,700万円

特別会計は26億7,296万円

一般会計の

昭和五十六年度の予算規模は、五十二億一千七百円で前年度対比五・九パーセントの伸びとなりました。

国の五十六年度の予算および財政投融資計画は、経済の着実な発展を目的としたもので、歳出の定めは、現行の方向への充実と並んで、歳入の充実を図るため、歳出面では、質的の充実と量的の増加を図ることとし、歳入面でも徹底して公債發行額の大削減を図ることとされています。また、地方財政政策においても、概ね、国との調整により妥協点が見出され、このように、財政運営は、政府と民間の協調によるものと見てよいです。

昭和五十六年度予算是、国の補助金等の整理削減から、歳入の状況がかなり厳しい状況に陥りました。財政の健全化の確保に努め、歳出面では、般般的経費の節減を図り、投資的経費については、町新振興計画に基いた事業の重点的配分と、点的配分と、度ある財政運営として策定されました。

わたくしたち町民の財務と資産に関する深い町税は、

一人当たり 生活環境の終
教育・産業・農業の発展
暮らしを良くするために五市一町で連携して取り組んでいます。
人当たりにすると十四万九千円
八円になります。

心身障害者授産施設工事		・小学校教育振興費	33,586
12,000		・中学校教育振興費	25,219
・老人想の家建設及び付帯工事		・幼稚園就園奨励費	35,157
	23,909		
・児童手当	51,066	(住) (民) (福) (社)	
・分娩介助委託料	1,745		教
・乳児医療費扶助	2,580	“生きかいのある住民福祉の充	育
・寡婦家庭医療費扶助	2,400	実。をはかるための予算で、民生	
・民間保育所委託料	51,249	費、衛生費などがこれに当たりま	
・妊産婦医療費扶助	1,920	す。	
・母子家庭医療費扶助	1,260	千円	
・予防接種諸費	26,034	・社会福祉協議会補助	12,000
		・重度心身障害者医療扶助	7,560
		・老人医療費扶助	115,836
		・敬老会記念品	2,830
		・老人クラブ育成及び事業等補助	
			5,967
			・小学校管理費
			168,338
“豊かな生活を生む産業の振興”			・中学校管理費
をはかるための予算で、農林水産			75,171

5月は“善意高揚の月”です（町のテーマ）

